

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅲ 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進	施策 No.	30	施策名	暮らしやすい快適な都市環境の確保（騒音・振動の防止）
-----	----------------------	--------	----	-----	----------------------------

目的、内容	道路交通騒音について、2020年に環境保全目標を概ね達成（達成率95%以上）する。 航空機騒音対策について、大阪国際空港周辺における周辺緑地整備、民家防音工事等の環境対策を推進する。 工場・事業場や建設作業などの固定発生源、新幹線等の鉄道の対策を推進する。 低周波音について、実態調査等により知見の収集等に努める。			
副次的効果、外部効果等				
関係法令、行政計画等	騒音規制法、振動規制法 府生活環境保全条例 第9次大阪地域公害防止計画 公共交通戦略（2014年1月）：公共交通の利便性向上			
国等の政策、社会情勢等	2012年4月環境省「地方公共団体担当者のための建設作業振動対策の手引き」 2012年4月中央環境審議会「今後の自動車単体騒音低減対策のあり方について（第二次答申）」：タイヤ騒音規制の導入を提言 2014年4月環境省「交通騒音問題の未然防止のための沿道・沿線対策に関するガイドライン」			
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）
	環境目的の本施策が主たる目的であるもの	338,913	462,668	579,592
	事業費の本施策が従たる目的であるもの	261,698	394,407	740,914
	環境以外の目的を含む事業費	19,206,640	21,802,428	21,060,460
取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績	
	① 騒音に係る環境保全目標達成状況（一般地域）	府環境白書掲載データ	「昼・夜間とも基準値以下」の率 75.5%（2010年度）、78.6%（11年度）、81.5%（12年度）	
	② 騒音に係る環境保全目標達成状況（道路に面する地域）	同上	「昼・夜間とも基準値以下」の率 91.8%（2010年度）、93.5%（11年度）、93.6%（12年度） 2020年目標：95%	
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業内容・実施状況等
[計画本文]	道路交通騒音対策			
	低騒音舗装の推進	☆☆	沿道環境改善事業	環境基準を超過し、住居等が連担する区間において、路面損傷状況に応じて低騒音舗装等による環境改善
	沿道環境対策の推進	☆☆	沿道環境対策の推進	大阪府道路環境対策連絡会議（国土交通省大阪国道事務所、府、大阪市等で構成）の各関係機関との連携を図り、沿道における環境対策を推進
	交通流対策の推進	☆☆	すろと交差対策、連続立体交差事業、道路・街路の整備	すろと交差対策や鉄道・道路の立体交差化、環状道路等の整備により交通渋滞を解消し、円滑な交通流の実現を推進
	航空機騒音対策（大阪国際空港周辺）			
	周辺緑地整備	☆☆	空港周辺緑地整備事業	大阪国際空港周辺の騒音激基地域における住環境の向上を図るべく、緑地を整備
	民家防音工事等の環境対策の推進（関係機関と連携）	☆☆	大阪国際空港周辺地域空気調和機器機能回復工事等助成事業	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律に基づき、新関西国際空港（株）が行う民家防音工事助成事業等に対し補助を実施
	（その他）	☆☆	空港周辺における航空機騒音調査	航空機騒音の測定を、常時測定：3地点、随時測定：4地点 において実施
	固定発生源、鉄道対策の推進（市町村と役割分担のもと）	☆☆	騒音・振動規制指導市町村環境担当職員騒音・振動研修会 鉄軌道騒音・振動対策の促進	法・条例に基づく規制権限を有している市町村に対して技術的支援を実施 研修会：年3回（2013年度） 沿線自治体との連携のもと、新幹線鉄道及び在来線鉄道の事業者による騒音・振動対策を促進
	低周波音の知見の収集等	☆☆	低周波音問題に関する技術指導	「低周波音問題対応の手引書」（2004年6月環境省）に基づく苦情対応において、市町村で技術的に対応困難な問題に関し、技術指導を実施
	※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗			
評価	評価	理由等		
	施策目的の達成状況	順調に推移している	取組指標①②は上昇傾向	
	事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗		
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等		
	目標	無		
	施策の方向・主な施策	無		
	工程表	—		
	その他の改善事項	無		
関係課室	交通環境課、都市整備部、政策企画部戦略事業室			

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	妥当である	一般地域については基準値以下が上昇傾向であるが、沿道地域では、上昇傾向も見られるが横ばいとも見える。	一般地域においては基準値以下が上昇しているが、さらに上昇させるための見直し・改善の方向も必要だと考えられる。